

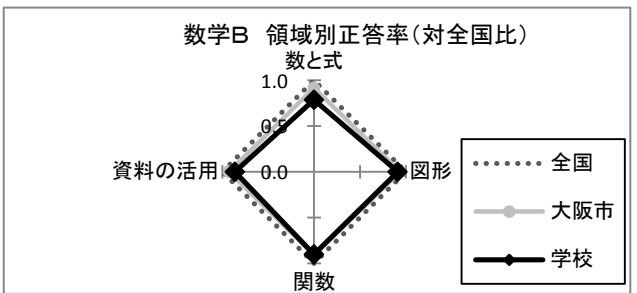
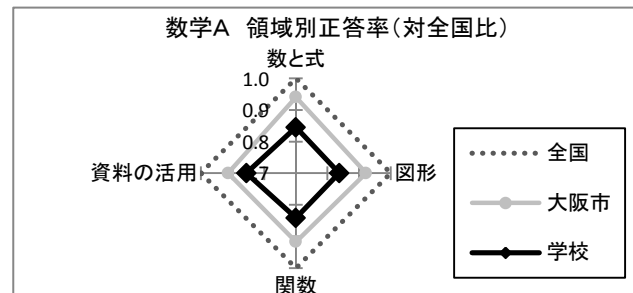
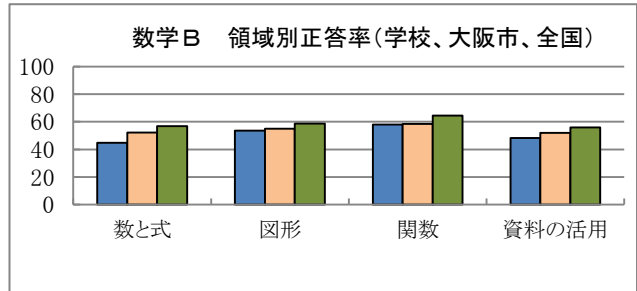
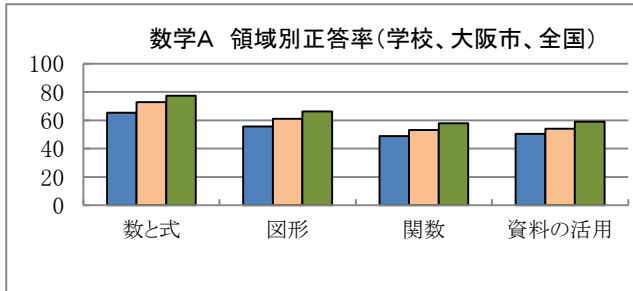
## 【数学】

### 結果の概要

・A問題、B問題とも全国平均を下回った。特に、A問題で10P以上の差があり、基礎的な事項の定着に課題が見られる。  
 ・「数学の勉強は好きか」との質問に約6割の生徒が肯定的な回答をするとともに、「数学ができるようになりたい」と回答した生徒も約8割おり、学習意欲は高い。

A 問題		平均正答率(%)			
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	12	65.4	72.8	77.4
	図形	12	55.6	61.2	66.4
	関数	8	48.8	53.2	58.0
	資料の活用	4	50.6	54.0	59.1

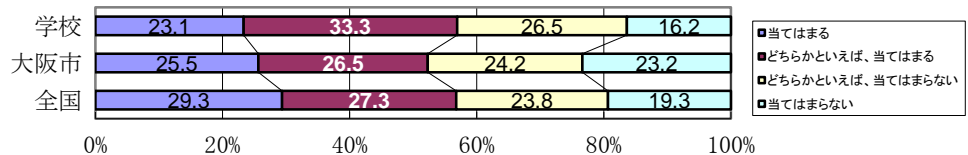
B 問題		平均正答率(%)			
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	3	44.7	52.1	56.9
	図形	5	53.5	55.0	58.6
	関数	5	58.1	58.5	64.4
	資料の活用	2	48.3	51.9	55.9



### 数学に関する「生徒質問紙」

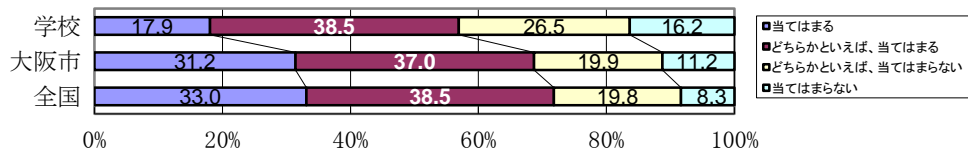
62

数学の勉強は好きですか



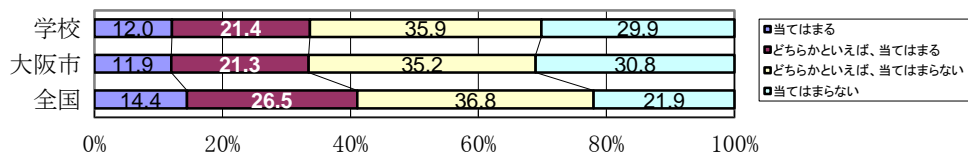
64

数学の授業の内容はよく分かりますか



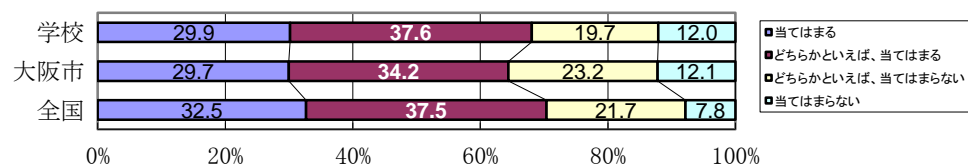
67

数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



70

数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



### 成果と課題

- ・全時間習熟度別少人数授業を展開しているが、十分に成果が出ているとは言い難い。
- ・B問題において、無回答率が3割を超える問題が2問あり、論理的思考を要する発展的な問題に対応できていない。

### 今後の取組

- ・習熟度別少人数授業のさらなる充実を図るとともに、課題となった点を重点として、授業改善を図っていく。
- ・数学検定などを活用し、生徒の持つ数学に関する興味・関心をさらに高め、学力の向上につなげていく。